

授業科目の区分等：専門教育科目 会計学科 実践科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
横田 昌彦			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	302 (上級科目)

授業のねらい (概要)	上場企業・グローバル化した企業の複雑な商取引の実態を企業会計の計算的側面からの確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、企業会計を通じた実際の企業活動を計算的側面から理解した会計実務者を養成することを目的とする。具体的には、上場企業・グローバル化した企業の複雑な経営活動に関する取引を理解し、主として一般簿記に関する計算的考え方について学修する。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】第2章 棚卸資産 記帳方法などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第2回 【遠隔】第3章 債権債務 金融資産の消滅の認識などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第3回 【遠隔】第4章 有価証券 有価証券の評価、保有目的区分の変更などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第4回 【遠隔】第5章 固定資産 (1) リース取引などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目 I II IIIについてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第5回 第5章 固定資産 (2) 固定資産の減損、資産除去債務、ソフトウェアなどについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目 IV V VIについてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第6回 第7章 社債と新株予約権 社債の償還、新株予約権、ストック・オプションなどについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第7回 第8章 純資産 分配可能額の算定について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第8回 第9章 損益と税金 税効果会計の回収可能性などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第9回 第11章第12章 デリバティブ・ヘッジ デリバティブ・ヘッジについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第10回 第13章 その他の論点 1株当たり情報について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習 (時間) : ステップVのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく (120)</p>

第11回	<p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120） 第1章第3章第4章 現金預金、債権債務、有価証券 小口現金、親会社株式などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：ステップVIのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120）</p>
第12回	<p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120） 第5章 固定資産（3） 不動産の流動化などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：ステップVIのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120）</p>
第13回	<p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】第6章 引当金 退職給付引当金の従業員抛出がある場合などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：ステップVIのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120）</p>
第14回	<p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】第7章 社債と新株予約権（2） 新株予約権、新株予約権付社債などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：ステップVIのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120）</p>
第15回	<p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】第11章 デリバティブ・ヘッジ（2） 通貨スワップ、特定のリスク要素のヘッジ、予定取引などについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。</p> <p>予習（時間）：ステップVIのタイトルの項目についてweb視聴をし、計算例を解き理解しておく（120）</p> <p>復習（時間）：タイトルの項目の計算例の復習をし、完答できるようにする（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力</p> <p>【身に付くスキル】 課題解決力・論理的思考力</p>
到達目標	<p>①上場企業・グローバル化した企業の計算の仕組みを理解し、説明することができる。 ②上場企業・グローバル化した企業の会計処理について実際に計算することができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。</p>
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意すること。 （1）講義の他、朝7時から予習復習を行う （2）web視聴を前提とした反転講義を行う （3）欠席の場合には事前に教員に連絡する （4）欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなす （5）税理士試験と同等の知識を要する</p>
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行う「筆記試験」（50%） 授業内外の「課題」（50%）</p>
教科書	<p>経理研究所において利用している1級のテキストを利用する。</p>
参考書・教材	
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、13～15回は課題研究として学修する。 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、及び作業指示を高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで行う。各回全体で330分の学修を想定している。</p> <p>「成績評価の方法・基準」欄の「筆記試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかに高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。</p>
教員との連絡方法	<p>高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール（アドレスは授業内で周知）</p>